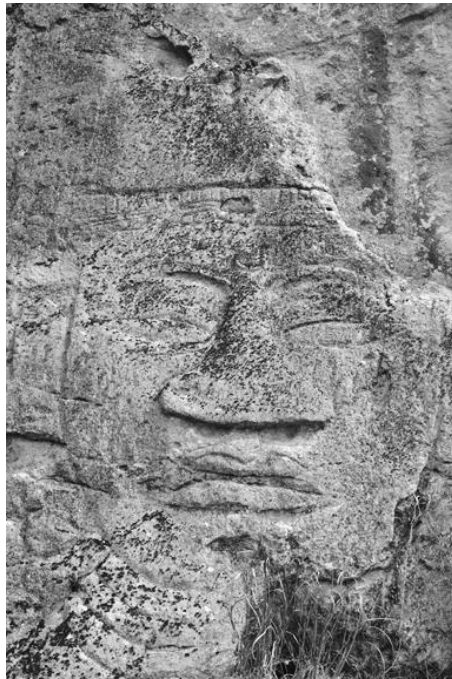


史跡 佐貫石仏保存活用計画

(公開用 ※抜粋)

引用文献・参考文献 一覽



平成 28 年(2016)3 月

栃木県塩谷町

引用文献・参考文献（順不同・太字は引用文献）

【塩谷町に関する事項】

- 柴田常恵「佐貫石仏」『内務省史跡調査報告』一
丸山瓦全「下野の石佛」『考古学雑誌』第13巻第12号(大正12年8月)
『栃木県史跡名勝天然記念物調査報告』第一輯 1926(大正15年)
渡辺龍瑞「佐貫磨崖仏」『日本考古学辞典』1962(昭和37年)
『栃木県史』資料編 考古 第一巻 原始古代史料編 1976(昭和51年)p184-189、329-330,796-798
埴 静夫「塩谷郡佐貫洞穴遺跡調査概要」『栃木県考古学会誌』第一集 1966(昭和41年)
江坂輝弥「栃木県塩谷郡佐貫遺跡」『日本考古学年報』五 1957(昭和32年)
辰巳四郎「船生のストーンサークルに就いて」『下野史学』創刊号 1952(昭和27年)
岡崎文喜『佐貫洞穴調査略報』宇都宮大学史学教室、1964
田代 寛「佐貫洞穴遺跡発掘抄録」『史友20号』宇都宮大学史学研究会
塩谷町史編纂委員会・塩谷町教育委員会『塩谷町史遺跡調査報告書』1994
塩谷町教育委員会・日本窯業史研究所『栃木県塩谷町中島遺跡』平成19年
塩谷町教育委員会『寺入遺跡』塩谷町埋蔵文化財調査報告書第1集 1994(平成6年)
塩谷町史編纂委員会『塩谷町史』第一巻～第四巻 平成9年
埴 静夫 編『塩谷町の遺跡・遺物と野佛調査』栃木県開発株式会社昭和63年
栃木県教育委員会『栃木県歴史の道調査報告書』第三集 2015(平成27)
原田 浩 et.al 「佐貫観音(栃木県塩谷町)の地衣類」『栃木県立博物館研究紀要』第20号、2003、p51-55

【石仏に関する事項】

- 西村 貞『奈良の石佛』 1942 第三版 1945 全国書房、p28
川勝政太郎『日本の石佛』 1943 晃文社
佐藤宗太郎『石仏の解体』 1974 學藝書林、p248-249
文化庁他監修、鷲塚泰光編「石仏」『日本の美術147』至文堂、昭和53年
近藤昭一「佐貫の未完成磨崖仏」『史迹と美術』第429号、史迹・美術同好会 昭和47年
有帆菩提寺磨崖仏調査委員会『有帆菩提寺山磨崖仏・有帆菩提山磨崖仏調査委員会報告書』山陽小野田市教育委員会、平成20年(2008)
東京国立文化財研究所編 江本義理他『石造文化財の保存と修復』 昭和52～59年度特別研究報告書 1985
森井順之ほか「国宝臼杵磨崖仏群時期保存修復計画のための調査研究」『保存科学』No.41 2002
『石造文化財の保存対策のための概要調査 石造文化財の基礎調査報告書』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館報告書 第18集 平成8年(1996)3月31日 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
『石造文化財の保存対策のための概要調査2 石造文化財の保存調査報告書』大分県立歴史博物館調査報告書第3集 平成11年(1999)3月31日 大分県立歴史博物館
地震調査研究推進本部・地震調査委員会「関谷断層の長期評価(一部改訂)」平成27年4月24日
土木学会岩盤力学委員会 編『岩盤斜面の調査と対策』社団法人土木学会 丸善 平成11年
佐々木宏幹他 編『日本民俗宗教辞典』1998、東京堂出版
芳賀町史編さん委員会・柏村祐司『芳賀町の野仏』芳賀町史報告書第九集、2005(平成17)

【親鸞伝承に関する事項】

- 宮田茂「第五章 第一節 親鸞の東国入国と「さぬき」での回心」『板倉町史』昭和60年、p456-682、
田代善吉『栃木懸史巻四』「寺院編」、昭和9年、下野史談会、p27-30
大峰貫道『親鸞聖人二十四輩順拝記』後編 興教書院 1911(明治44年) p11-14
板橋倫行「親鸞の三部経読誦と佐貫石仏」『日本歴史』第137号、日本歴史学会、昭和32年、吉川弘文館

- 由谷裕哉「親鸞の越後配所を巡る記憶の生成と確立」『三田社会学』第14号、p108-122、2009
- 小泉義博「戦国時代の橋立真宗寺」『本願寺史料研究所報』12号、1995・6
- 赤松俊秀『親鸞』吉川弘文館、1961**
- 赤松俊秀/笠原一男編「第二節 親鸞と東国」『真宗史概説』平楽寺書店 1963 p42-50
- 家永三郎『中世仏教思想史研究』法蔵館、改訂増補版、1955
- 石田瑞麿『親鸞とその弟子』法蔵館、1981
- 石田瑞麿『親鸞とその妻の手紙——親鸞・恵信尼』春秋社、1968
- 石田充之・千葉乗隆編『親鸞と初期教団』、(真宗史料集成；第1巻)、同朋社、1974
- 伊藤 益『親鸞』集英社新書、2001
- 今井雅晴『親鸞と東国門徒』吉川弘文館、1999
- 今井雅晴『親鸞の家族と門弟』法蔵館、2002
- 笠原一男『親鸞』講談社学術文庫1288、講談社1997
- 笠原一男『親鸞と東国農民』山川出版社、1957**
- 笠原一男『真宗における異端の系譜』東大出版会、1962**
- 菊村紀彦『新装版・親鸞辞典』東京堂出版、2001
- 服部之絵『親鸞ノート』国土社、1948**
- 福永勝美『親鸞教団弾圧史』雄山閣、1995
- 平松令三『親鸞の生涯と思想』吉川弘文館、2005 初出1989
「草創期の親鸞教団をめぐる諸学説」
- 藤田宏達『浄土三部経の研究』岩波書店、2007
- 二葉憲香編『親鸞のすべて』新人物往来社、1984
- 福岡光超「念仏弾圧と東国遍歴」『親鸞のすべて』1984、p97-120
- 武田鏡村「親鸞年表」『親鸞のすべて』1984
- 武田鏡村「親鸞の二重構造的性」『関東の親鸞』、三一書房、1990、p61-97
- 古田武彦『親鸞』人と思想8 清水書院 1970
- 星野元豊、石田充之、家永三郎校注『親鸞』(日本思想大系第11巻)、岩波書店、1971**
- 松野純孝『親鸞—その生涯と思想の展開過程』三省堂、1959
- 松野純孝「中世東国における真宗伝播の一契機」『印度学仏教学研究』8号、1956、p73-82
- 宮井義雄「佐貫の転機と布教の精神」『親鸞聖人』春秋社、1991
- 栃木県史編さん委員会『栃木県史通史編3 中世』「第二章 第六節 四 下野における真宗の展開」1984 p392-423
- 茨城県史編集委員会『茨城県史中世編』「第六章 第一節 親鸞の常陸移住と初期真宗教団」1986 p371-413

【その他】

- 矢板市史編纂委員会『矢板市史』昭和56年
- 氏家町史編纂委員会『氏家町史』資料編
- 喜連川町史編纂委員会『喜連川町史』第一巻 資料編
- 喜連川町史編纂委員会『喜連川町史』第六巻 通史編 平成20年
- 芳賀町史編纂委員会『芳賀町の野佛』
- 上越市史編纂委員会『上越市史』資料編3 古代・中世 平成14年3月
- 村上市史編纂委員会『村上市史・通史編』原始・古代・中世 平成11年2月
- 高橋義彦編『越佐史料』巻一
- 板倉町史編纂委員会『板倉町史』通史編上巻 昭和60年
(その他本文中に示した)

史跡 佐貫石仏保存活用計画

発行日 平成 28 年 3 月

発 行 塩谷町教育委員会

〒329-2441 栃木県塩谷町大字船生 989-1